



2018 ^{ピョンチャン}平昌冬季五輪 スノーボード男子ハーフパイプ

おめでとう 銀メダル! 平野歩夢 選手 大接戦に大熱狂

熱気に包まれた
パブリックビューイング会場

平昌冬季五輪スノーボード男子ハーフパイプで、村上市出身の平野歩夢選手が、見事銀メダルを獲得しました。

決勝戦の2月14日(水)、パブリックビューイング会場の教育情報センターには、開場前から多くの市民が駆け付けました。競技開始30分前の午前10時には定員2000人に達し満員御礼。競技が始まると、会場一体となって大声援を送り続けました。

決勝2本目で、平野歩夢選手が縦に2回転、横に4回転する大技「ダブルコーク1440」を2連続で決めた滑りでトップに立つと、興奮は最高潮に達しました。惜しくも最大のライバルであるション・ホワイト選手に3本目で逆転されてしまいました。2大会連続の銀メダルという快挙を成し遂げた平野歩夢選手。会場からは「よく頑張った」「すごい試合をしてくれてありがとう」と声が上が。最後は、銀メダル獲得を祝した万歳三唱で締めくくりました。

